

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	7	・「桜」の入所者様の重度化(平均介護度4, 1)に伴い、職員二人介助の方が増えた事で、勤務時間内に業務が終了しない事が増え、職員の精神的・肉体的負担に繋がっている。	・入所者様の出来る事を支援しながらも、職員の精神的・肉体的負担の軽減を図る。 ・職員がスキルアップする事で、業務の負担が軽減される。	・「桜」と「秋桜」の入所者様、職員が交流する中で協力をして行く。 ・認知症に関する研修に参加した職員が講師となり、内部研修を開催し、職員全体のスキルアップを図る。 ・月に1回の施設長と職員の、面談を開催し、職員の率直な意見を聞いていく。	12ヶ月
2	6	・2ユニット似なった事で、更に利用者・家族の意見が反映された運営が期待される。定期的に4か月に1回、家族会を開催しているが、法人開催になっている。	・家族会の開催を徐々に家族主体の運営に切り替えていく。 ・入所者様の意見を第三者委員が聞く機会を設ける。	・家族会の会長、副会長の改選を機会に家族会の開催主体を徐々に「家族」に移行する事で、更に利用者、家族の意見が活発になる様にしていく。 ・月に1回、ボランティアで来所頂く方に第三者委員(苦情担当)をお願いする事で、入所者様の率直な意見を聞いていく。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

【評価機関】

特定非営利活動法人VAICコミュニティケア研究所